

# むさしNet

(発行)

\*働きやすい職場をめざす  
 (連絡先) 日立武蔵の会  
 \*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男  
 \*電話・FAX ; 042-394-0937  
 \*メール; hitachikon@jcom.home.ne.jp  
 \*要望・意見を気軽に寄せ下さい。

## 身勝手な収益改善策だ

### 賃金5%引き下げに怒り 電機各社と比較してもひどい

02春闘で賃金引き下げが「継続協議」となつてから職場に何ら報告がされない中、29日の評議員会で突然一律5%賃金減額の受け入れ提案がなされました。

定を行うとして受け入れ内容と見解を職場に提案して来ました。

今回の労働条件の一律引き下げは、電機各社での動向や社内での減額幅との関係と比較してもひどい内容となっております。

受け入れ見解も内容もひど過ぎる  
 日立労組本部は4月15日の中央委員会で機関決

職場では「会社の身勝手な収益改善策への批判とともに、本部見解は会社側の言い分のみであり、生活費のかさむ

#### 社内の減額幅

会長・社長	; 20%
副社長・専務	; 15%
上席常務	
常務・理事	; 10%
部課長職	; 5%

中高年への減額への配慮、昇給もない世代への減額を認めるなど組合への不信感が強まった」との声が出されています。

#### 電機大手の賃下げ動き

東芝; 定昇半年凍結  
 松下; 定昇半年凍結  
 NEC; 定昇半年凍結  
 三菱; 年間特別休日7日増による賃金2.9%減額  
 安川; 一日25分時短により賃金5%減額  
 アンリツ; 一日0.75hr時短相当分の10%減額  
 沖電気; 賃金6%減額  
 (新聞報道の情報による)

こんなひどい労働条件の一律引き下げ提案を「形式的」な職場集会だけで決めて良いのかとの疑問も出されています。

### 全員投票で確認を

生活を圧迫する労働条件の切り下げなどについては「全員投票」など組合員の意思が正しく反映される方法で受け入れるかどうかを決めるべきではないかとの意見も出されています。

#### 集積回路

02春闘は、電機連合などが「ヘアゼロ」要求を決めてから経営者側の攻勢に押され、経常利益一兆円と言われるトヨタもヘアゼロとなる異常な結果となりました。さらに、電機各社を中心に「経営のV字回復」を目的にして春闘交渉終了時から賃下げの逆提案や諸手当の引き下げの実施を迫ってきました。電機連合も加盟している連合の笹森会長は「間をおかずして提案してくるということでは、春闘を否定するものだ」と批判しました。日立における賃金の5%減額提案は、莫大なりストラ対策費を計上した大幅赤字決算後、02年度黒字化を図る目的としています。その減額と実施において、電機各社の提案と比較してもひどいのが際立っています。今回の経営施策は職場の不信感を大きくする他はないものになりました。

# 労組本部に賃金カットの 白紙撤回を求めて要請する

4月5日(金)、日立労組・関連会社労組の組合員有志21名が連名して、会社の「賃金カット」提案に対して、日立労組本部に白紙撤回を求め要請書を提出し、応じた労組本部の人に各職場の状況を口頭で訴え、改善を強く求めました。

## 職場の声を届ける

4月5日の本部要請には、5職場6名の組合員有志が参加しました。

当日は本部の役員が会議で不在のため書記局主任が応待しました。

要請の代表は、職場で切実な声として出されている内容を一時間に渡り詳細に要請しました。

そのポイントは、「春闘と切り離れた事は電機

## 要請書のポイント

日立労組本部に提出した要請書のポイントは次の内容です。

いうまでもなく労働組合は「労働条件の維持改善をはかり、進んで経済的、社会的ならびに政治的地位の向上をはかること」を目的としています。今回の会社提案は、「労働条件の維持改善」のための春闘の結論を即座に

の統一闘争が困難になった」「一律5%減額はペースタウンになった」「解除条件が利益予算達成となっており問題を残した」「本部は会社の説明を呑みにしている」「白紙撤回を望むのが当然の立場」「関連会社に対しても影響が大きく決めないでほしい」など切実な声を届けました。

反故にし、さらに悪化させるもので、労働者と労働組合に向けられた挑戦です。いまこそ、労働組合がその真価を発揮すべき時だと思えます。

私たちは以上の点を踏まえ、組合員にこれ以上の我慢を強いる会社の「賃金カット」提案に対し、白紙撤回を求め粘り強く闘って行くことを強く要請します。

3月30日、都内の日本青年館で開催された「リストラ反対、雇用と地域経済を守る全国交流集会」に参加する機会がありましたので、その内容を報告します。

### 初めての5団体共催

主催者を代表して挨拶した全労連の小林議長は、リストラ反対で積極的役割を果たしている全労連、自由法曹団、日本共産党、全商連、新日本婦人の会が初めて共同で集会を開いた意義を強調しました。

### リストラ反対、雇用と地域経済を守る 全国交流集会が開かれる

利潤の最大限追求にむけた「持株会社」など企業組織再編の準備。

提起の中で、今日のリストラ「合理化」の特徴について次の5点の指摘を行いました。

これまでになく大規模な人員削減、退職強要が全産業的に行われている。賃下げ、労働力「弾力化」など徹底した総額人件費削減が行われている。

生産拠点の海外移転の拡大と地域経済の空洞化は深刻化を増してきている。

政府が「大倒産・大失業」のリストラを促進し、大企業への加担・協力を進めている。

と述べました。

この全国交流集会には400人余が参加し、リストラ反対闘争を全国的な大きな流れにしようとの発言が相次ぎました。(谷口)

### リストラ「合理化」の特徴

全労連の熊谷副議長は、全国交流集会の問題

## 早期退職優遇制度による「個人面談」での

# 退職強要と勧奨の実態を告発する

昨年末から今年3月末にかけ武蔵事業所の製造部デバイス製作課の職場ではリストラの嵐が吹きまくりました。私の面談の時にもいきなり課長に「会社を辞めて下さい。お願いします」と言われびっくりしました。何人かは「何日までに退職届をもって来るように」といわれました。あまりのひどいやり方に組合に相談した人も数人いましたが、何の効果もありませんでした。毎日のように面談が続けられ、職場は「誰々が辞めるんだって」と情報が飛びかう暗い毎日でした。

### 《職場の声》

あなたのする仕事はないと言われた。貴方は要らないと言われたと同じ。もうこんな会社にいたくない。  
仕事の将来の見通しが見つからないと言われた。会社を去るも地獄、残るも地獄だ。

かなりの脅かしがあって怖かったが、きっぱり退職を断った。

不況の原因は私たちの責任ではない。会社幹部の責任はどうなっているのか。

いついつまでに退職届をもって来るようにとかなり強引だった。

上司は部下を守るのが本来の姿なのに、これでは信頼関係がなくなる。

課長が休憩室に来るとサーッとみんないなくなってしまう。

退職届に印鑑を押して悩んだが、やっぱり退職を留まった。

今のままではすまされない。賃金ダウンするから今が辞め時と言われた。

組合は相談に来るように言うが、組合から職場に来て実情を調査すべき。

リストラの人数が足りないからと再びこんなひどい退職強要は止めてもらいたい。

(S)

## 休憩室

第一生命保険が決定した「第15回サラリーマン川柳コンクール」の全国入選作品より紹介します。

### サラリーマン川柳

「ペイオフの 心配したいな わが家でも」  
「デジカメの エサは何だと 孫に聞く」  
「実業家 時代変わって 失業者」  
「職安で 働かせると この盛況」  
「窓際も いまや高嶺の 激戦区」  
「親孝行 したい時には 職はなし」  
「エモード 妻にもほしい 愛モード」  
「父ちゃんの こづかい減らす 子の携帯」  
「かかる金 我が家の一浪 メジャー級」  
「いつの日か 俺もイチロー まず一浪」  
「イチローも6割5分は ミスってる」  
「へそくりは 千と小ぜにの 金隠し」

# 職場だより

## 賃金引下げは認められない！

「緊急業績対策」で「賃金5%カット」の具体的内容が示されてきました。電機の他社では一日25分の時短とか、年間7日の休日設定で賃金を歩引きするという事がありますが、日立の場合は時短なしのまったくの賃金引き下げになっていきます。15分早く帰るので引

## 賃金カットとは本当にひどすぎる

会社は経営責任を棚にあげて2万人を超える人減らしをすすめてきました。

今度は大きくみせかけた赤字を口実に賃金カットまで労働者に飲ませようというのですから本当に許せません。

春闘妥結後に一律5%賃金カットを提案してくるとは、春闘の否定、労働組合無視の横暴です。会社は賃金カット提案を撤回し、くらしと雇用をまもる責任をはたすべきです。(T)

かれるのなら仕方ないかと思っただけですが、まるまるの賃金引き下げでは納得できません。こんなにひどい提案は絶対に認められないから。(K)

## 春闘総括は納得できない！

中執見解の「連結の最終損益は4800億円」との認識は、来期以降のリストラ費用を含んだ赤字決算であり、作られた赤字論に組みするものであり納得できません。春闘の厳しさを全面に

出した「ベアゼロ」要求は、経営者側の攻勢を食い止める役割を果たさず、労組と春闘を否定させる役割しか果たせなかったのではないか。

大手が率先して人減らしを強行させたことが、完全失業率を押し上げた要因と言わざるをえない状況を生み出し、労組の闘争体制を弱めたのではないか。(T)

## 代行返上でのデメリット対策は

厚生年金における代行部分の返上に対する本部分見解の「デメリット部分」についての対策をどのようにするのか不明です。組合としては、デメリットになる制度の導入を認めるべきではないと考えます。今後組合として、さらに代行返上に伴い、国の年金運営で今までと比較して不利益にならないよ

絵手紙で「挨拶



うな監視が必要ではないかと感じました。(Y)

## 三菱電機と合併会社設立？

3月18日、三菱電機とのシステムLSI事業統合に向けた検討を開始すると発表しました。一年後に合併会社の設立が前提であり、大きな変化を生む重大な内容であり職場の不安の解消が強く求められています。(H)

## 編集後記

現在の職場では、早期退職の強要を始め、賃金カットなどの大幅な減収、三菱との合併会社に向けて、など問題が山積している状況です。こうした中、むさしNetに対する期待と激励が寄せられています。引き続きご支援を心よりお願いします。(S)